

各 位

会 社 名 藤倉コンポジット株式会社  
代表者名 代表取締役社長 森田 健司  
(コード番号5121 東証プライム市場)  
問合せ先 常務取締役管理本部長 高橋 秀剛  
(TEL 03-3527-8111)

(訂正) 「2022年3月期 決算短信 [日本基準] (連結)」の一部訂正について

2022年5月13日に公表しました「2022年3月期 決算短信[日本基準] (連結)」の一部に訂正すべき事項がありましたので、下記の通りお知らせいたします。

なお、訂正箇所には下線を付して表示しております(次ページ)。

## 記

### 1. 訂正の理由

「2022年3月期 決算短信[日本基準] (連結)」の発表後、「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更)」の記載事項に、誤りがあることが判明したため、訂正するものです。

### 2. 訂正内容

訂正内容は、次の通りです。

訂正箇所 12 ページ 「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (会計上の見積りの変更)」

<訂正前>

(会計上の見積りの変更)

当社の中国子会社の有形固定資産について、2020年9月に公表した中国子会社工場用地契約解除や2021年6月に公表した第6次中期経営計画において海外生産拠点の再配置の検討を開始したことを契機に、耐用年数到来時の価値について再検討いたしました。その結果、資産効率及び資本効率の向上を図り、また、当社グループのグローバル展開を踏まえ、グループ各社との整合性を図ることが合理的であると判断したため、当連結会計年度において残存価額を取得価額の10%又は3%から1%に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当連結会計年度の売上総利益は **164,012千円**、営業利益、経常利益、税金等調整前当期純利益はそれぞれ173,167千円減少しております。

<訂正後>

(会計上の見積りの変更)

当社の中国子会社の有形固定資産について、2020年9月に公表した中国子会社工場用地契約解除や2021年6月に公表した第6次中期経営計画において海外生産拠点の再配置の検討を開始したことを契機に、耐用年数到来時の価値について再検討いたしました。その結果、資産効率及び資本効率の向上を図り、また、当社グループのグローバル展開を踏まえ、グループ各社との整合性を図ることが合理的であると判断したため、当連結会計年度において残存価額を取得価額の10%又は3%から1%に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当連結会計年度の売上総利益は **117,698千円**、営業利益、経常利益、税金等調整前当期純利益はそれぞれ173,167千円減少しております。

以上